

# りんかい線沿線のイメージ分析 ～認知地図を用いて

武蔵野大学サステナビリティ学科  
白井ラボ 2348018坂本実咲

# 認知地図（イメージマップ）とは？

## 頭の中にある地域のイメージを地図に描いたもの

最初はケビン・リンチという心理学者が提案（1960年）。主観的なイメージは客観的な状況とは異なり、これを分析することで次のことがわかる。

- ①人々に共通するイメージがある → 地域の特徴がわかる
- ②属性によりイメージが異なる → 属性による地域のとらえ方の違いがわかる
- ③地域のよい所やわるい所が示される → 地域づくりの課題がわかる
- ④多くの人が知らない要素が書かれる → 隠れている地域資源を発掘できる

# 調査の目的と方法

## 調査の目的

- りんかい線の駅周辺に対するイメージから、駅周辺の魅力と課題を知り、今後のあるべき地域づくりを検討する基礎資料とする。

## 調査の方法

- りんかい線沿線の駅ごと、異なる属性ごと（大学生、高校生、社会人、居住者の人たち）に、最寄駅のイメージを地図として描いてもらう。
- 国際展示場駅周辺と東雲駅周辺の地図を描いてもらった
  - 国際展示場駅周辺（学科学生3年生22名、教員1名、広報課職員9名）
  - 東雲駅周辺（かえつ有明高校28名、在住者1名）
- さらに比較対象として、ラボ生の自分の家のまわりの地図を描いてもらった。

# 調査の結果

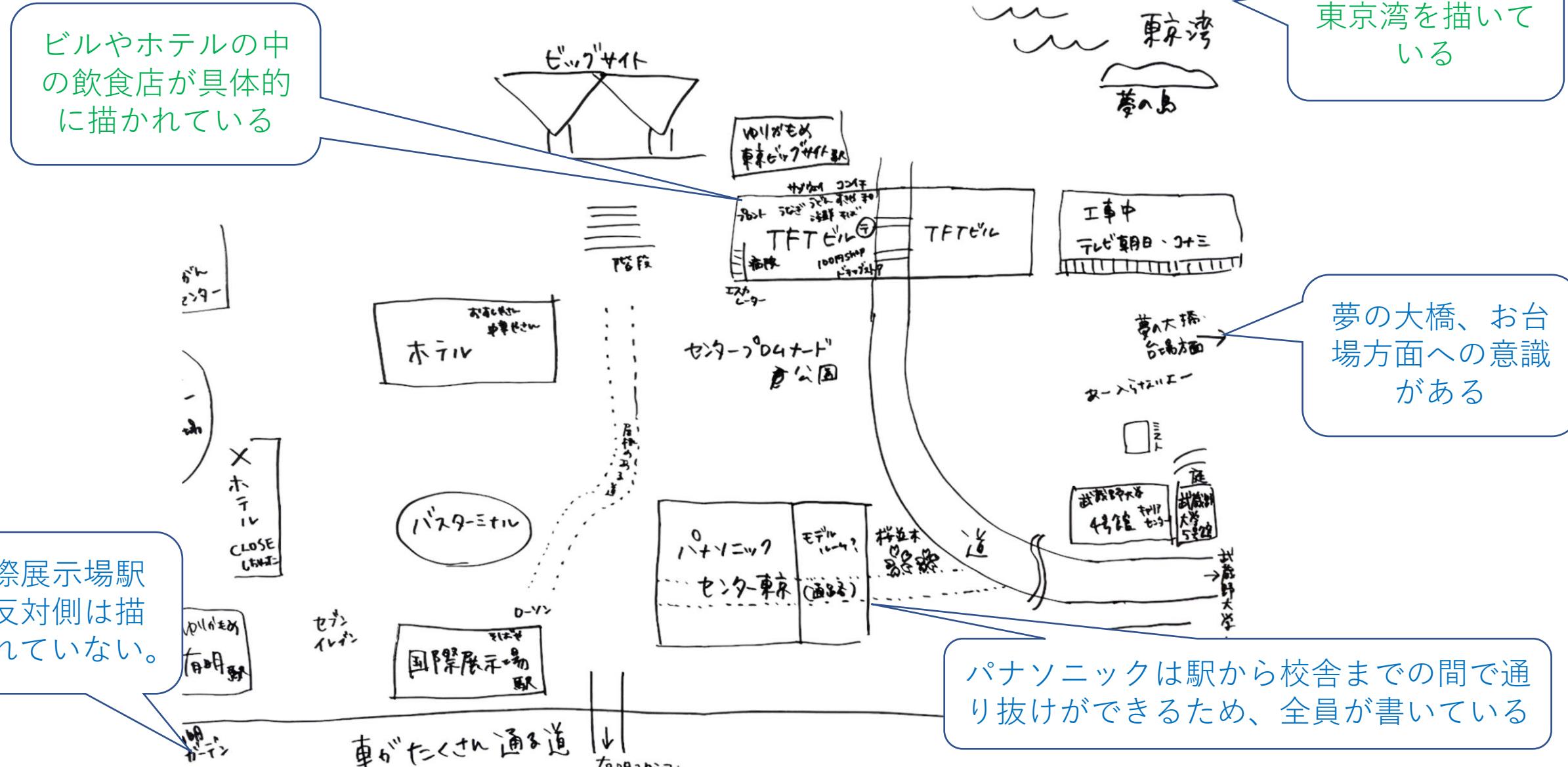
## 大学生による国際展示場駅周辺のイメージマップの例

## ビル中心、狭い範囲



# 大学職員による国際展示場駅周辺のイメージマップの例

大学生よりは俯瞰的で具体的

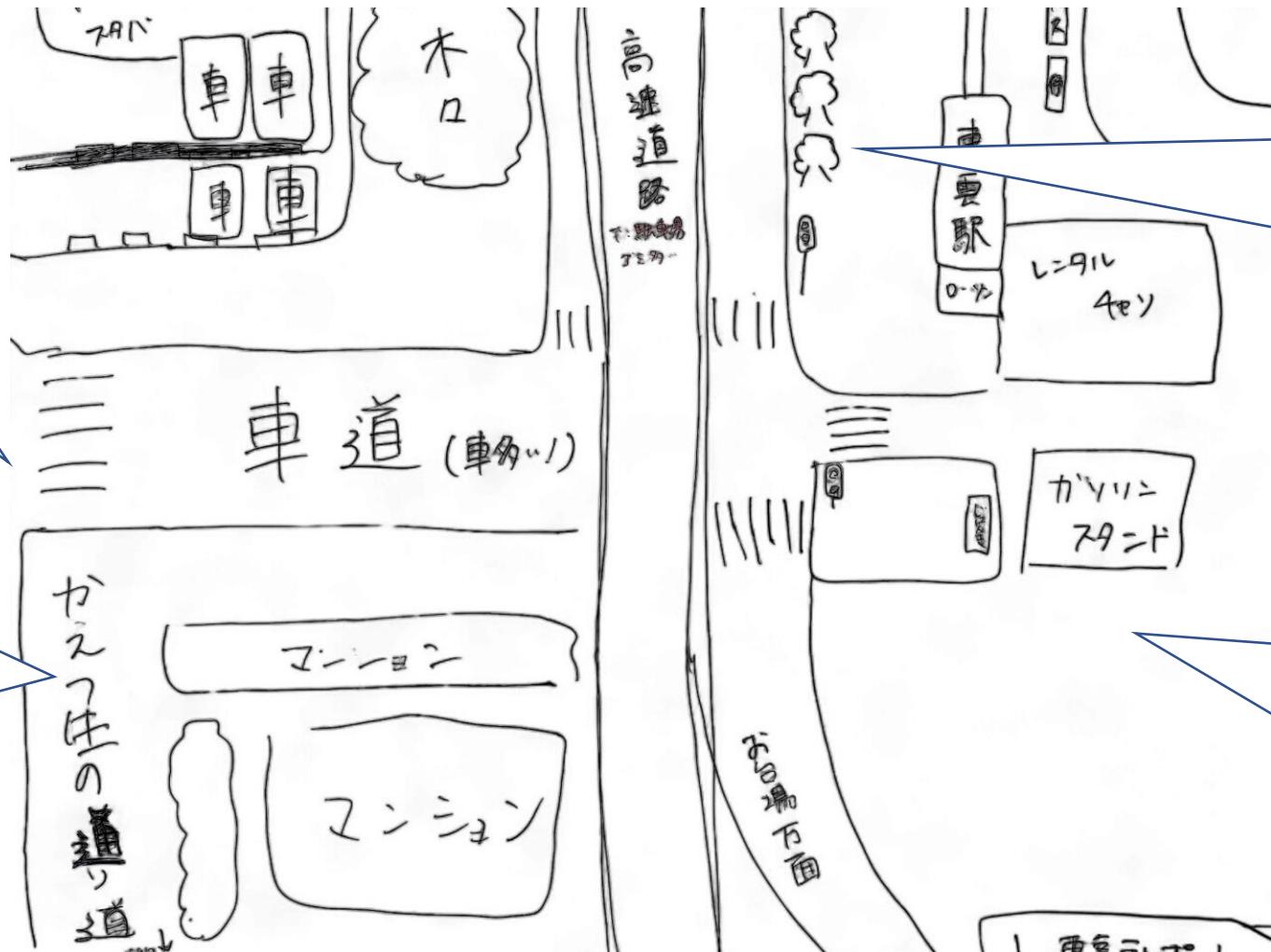


## 高校生による東雲駅周辺のイメージマップの例

通学路中心、狭い範囲

車道や横断歩道  
が多く書かれ  
ている（ほぼ全員  
に共通）

駅から高校まで  
の通学路が  
描かれることが  
多く、それ以外  
はあまり認知さ  
れていないので  
はないか。



樹木の書き込み  
がある。道路や  
建物が多い空間  
で、緑が重要に  
なっているので  
はないか。

高校がある駅の  
反対側はあまり  
書かれない（ほ  
ぼ全員に共通）

## 居住者による東雲駅周辺のイメージマップの例

俯瞰的で具体的、生活感



## ①人々に共通するイメージ

国際展示場駅	東雲駅
<ul style="list-style-type: none"><li>● 電車、乗り物を描く人が多い（通学時に使うため、イメージが強いためか）</li><li>● マック、サイゼリヤを描く人が多い（利用者が多いためか）</li><li>● 花とかかれたオブジェを描く人が多い</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 道と横断歩道を描く人が多い（交通量が多いためか）</li><li>● 気になる樹木を書き込む人が多い。</li></ul>

## ②属性によるイメージの違い

国際展示場駅	東雲駅
<ul style="list-style-type: none"><li>● 大学生は描く範囲が狭く、駅の反対側や近くにある海をほとんど描かない</li><li>● 大学生よりも大学職員の方が書き込む要素が具体的である</li></ul> <p>→地域との関わり方の濃淡によるのではないか</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 高校生は通学路を中心した範囲を描き、駅の反対側や近くにある海をほとんど描かない</li><li>● 住んでいる方は、自分の買い物や子育てに関連する施設を具体的に書き込んでいる。</li></ul> <p>→居住者と通学者の違いがある</p>

### ③地域のよいところ、悪いところ

	国際展示場駅	東雲駅
よいところ	<ul style="list-style-type: none"><li>● ベンチがあり、休憩にちょうどいい</li><li>● ほどよく、気が植えられている</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 鳥が多い、それなりに自然がある</li></ul>
悪いところ	<ul style="list-style-type: none"><li>● 学生が利用しやすい飲食店がない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 駅周辺の道路にごみが多く落ちている</li></ul>

### ④多くの人が知らない要素（あるけど描かれていないもの）

国際展示場駅	東雲駅
<ul style="list-style-type: none"><li>● 有明スタジオ、水の公園、劇団四季 等</li><li>● 具体的な木や花の名前</li><li>● 近くにある海</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● フットサルセンター、激安のうどん店 等</li><li>● 辰巳駅よりの橋</li><li>● 近くにある海</li></ul>

# 考察

- ① 大学生や高校生は、通学で通る範囲しか、地域を見ていない傾向がある。もっと、地域にあるものを知り、地域とのつながりを楽しむことができるのではないか。
- ② 特に駅の反対側、実は近くにある海、地域にある自然や生息する生物、知らないお店等のことを知る機会をつくることが必要ではないか。
- ③ 大人や地域に住んでいる人は、通学者とは違う認知をしている。大人や地域に住んでいる人と交流し、地域の魅力を教えてもらうことがいいのではないか。